

風と樹の詩

う た

～いまをみつめて～

社会福祉法人砂町友愛園
砂町友愛園養護部 施設長 河上 準一
〒198-0172 東京都青梅市沢井 1-506
☎0428-78-8388 fax0428-78-9104
<http://www.sunamachi-yuaaien.or.jp/>
2019 年 春号

平成から令和に向けて

施設長 河上 準一

平成の時代も終わり新しい元号になりましたが、平成の30年余りは皆さんにとってどのような年月だったでしょうか？ 時代そのものを一括りにして表現するのも難しく異論もあるかと思いますが、思い起こせば政治や経済等の大きな変化から始まり、とりわけ心に残ったことは大規模な自然災害や未曾有の事件等、心痛めてしまうことも多かったようにも思います。これから始まる令和の時代が、少しでも明るい未来に繋がるようにと切に思うこの頃です。

さて、砂町友愛園養護部でも新しい年度が始まり、それぞれの子どもたちが入学や進学・進級となり、元気いっぱいに夢や希望を膨らませて学校に通っているところです。前年度末は例年になく家庭復帰をした子どもが多く、それぞれが新しい学校や生活環境で頑張っているようです。子どもたちが家庭に帰り新たなスタートを図るという大きな目標を遂げたのは、ユニット担当職員や専門的職員等の連携、児童相談所をはじめとする他関係機関との連携協働の成果だったと思います。

また、職員体制では、今年度から育児休暇より復職した2名の職員と4名の新人職員が加わり、少し賑やかに新たな人員配置でスタートを切ったところです。若い職員の感性を取り入れながら職員一同が互いに学び合い、生活をしている子どもの最善の福祉的利益を提供していきたいと思っています。

現在、児童養護施設を取り巻く変革として「新しい社会的養育ビジョン」が発出され、今後は施設の高機能化や多機能化が求められていますが、併せて東京都の特別区における児童相談所設置も来年から順次始まるところです。私たちの施設としても時代の要請に対応した変革を進めて行きつつ、事業所の短期及び中長期計画も着実に推進していきたいと思っています。

最後になりましたが、昨年度も子どもたちの為に沢山の協力団体様や個人の皆様から、心温まるご支援ご協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。



行事報告

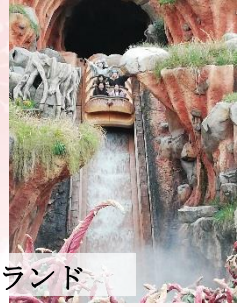
今年もたくさんの行事を実施する事ができました。主な行事として、ディズニーランドでは班に分かれて好きなアトラクションや食事を楽しむ事ができました。クリスマス祝会では横田基地第 374 通信中隊の皆様、中央大学の吹奏学部の皆様、ワールドメイトの皆様に協力していただき、楽しいクリスマスを過ごすことができました。（広報）



感謝祭



ディズニーランド



クリスマス祝会



節分



ひな祭り

新しい一年を迎える子ども、職員の意気込み

卒園生代表



門出会

僕は砂町友愛園で 7 年間過ごしました。その中で人の温かさや人との繋がりの大切さを学びました。また、施設生活の中でアルバイトや将来に向けて勉強を頑張りました。アルバイトは夜遅くまでやっていましたが、遅く帰ってきて職員は待っていてご飯を用意してくれたり、サポートしてくれました。そのような中で僕は進路について考え、そこでも職員にアドバイスを多くもらい、希望していた進路に無事に進むことができました。僕は砂町友愛園で生活できた事を誇りに思います。 卒園生 A

新一年生

私が頑張りたいのは部活です。小学校のクラブよりも本格的な部活。私はバスケ部に入りたいです。自主練やストレッチを欠かさずしっかりやって試合でレギュラーをとって活躍できるようにしたいです。そして高校もバスケ部に入りたいです。勉強では英語、社会、理科を特に頑張りたいです。 新・中 1 女兒 T

私の中学の目標は、勉強と部活と友達との関係を頑張る事です。勉強では、態度・話の聞き方等を頑張る、そしてテストでもいい点を取りたいです。部活では諦めずに一生懸命努力し目標に進んでいきます。友達との関係は、たくさん話かけて友達を増やしたいです。中学校では皆勤賞を目指します。 新・中 1 女兒 M



先生と僕を描きました。
新・小 1 男児 R

新任職員紹介

4 月より常勤職員になりました、岡部千晶と申します。私は砂町友愛園では職員と子どもが対等に関わっていると感じ、この環境で働きたいと強く思いました。働くにあたり、自分の専門分野にとらわれず、自分の興味を持ったこと、必要なことを学び姿勢を持ち続けていきたいです。また、子どもたち、他職員からの気づき、助言を大切に、日々成長していきたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。



廣瀬友美と申します。実習をさせていただいた時に、職員の方が子どもに丁寧に接している様子を見て、私も砂町友愛園で子どもの支援をしたいと思いました。子ども達に夢を持つ大切さを伝え、夢に向かって努力できる環境づくりをし、支えてあげられる職員を目指して、精一杯頑張ります。よろしくお願いします。



この度、砂町友愛園に入職しました三谷若葉と申します。私は大人と子どもの目線の両方の意見を出せるような職員になりたいです。年齢では大人、社会人としてはまだまだ子どもという立ち位置だからこそできることをしていきたいです。至らない所が多々ありますが何卒宜しくお願い致します。



4 月に入職しました、田村未希と申します。昨年度までは障害者施設で働いていました。私は「子どもと関わるお仕事したい！」という思いが強くあり、砂町友愛園にきました。今年 1 年の抱負は、子どもたちとたくさん遊ぶことです。私自身、歳を重ねるごとに運動する回数は減ってきていますが体力には割と自信があります。今後ともよろしくお願い致します。



交流 BBQ の様子

新しく入った子ども達や新任職員を歓迎する B B Q を行っています。
(広報)

勤続 10 年職員それぞれの活躍と働き方

10 年、また先の 10 年へ

大学卒業後、縁あって砂町友愛園養護部に入職させていただきました。今年で 10 回目の春を迎えることができ、嬉しく思います。月日が経つのは早いもので、これまでの勤続に対して正直に思った事を言うと「もうそんなに経つの？」の一言です。入職してから数年はまず「子ども達や先輩方に迷惑を掛けることないように」と仕事を覚えることに必死でした。しかし、同期や先輩に支えられた部分は大きく、今でも恵まれた中で働いている事はとても大きいことだと思っています。経験年数を重ねるにつれて余裕が出てくると「何か自分にしかできないことや役割を探す」、「研修機会を得て知識を深める」、「全く関係のない分野の著書にも親しみ、できる部分を実践してみる」などの課題やテーマを持つことにしました。そうする事で援助の質やモチベーションの向上を図ることが出来ました。ちなみに今年のテーマは「環境を整える」です。入職して初めて担当となった当時に幼児だった子も、既に立派な中学生となっています。そして何人もの子が家庭復帰や社会へと巣立っていき、活躍しています。在園児の成長や卒園児の活躍に負けまいと日々勉強のつもりで、勤続 20 年を目指して努めて参ります。

GH 桂の金魚



地域小規模 GH 担当 牧野

産休育休制度について

産前産後休業と育児休業合わせて 1 年半のお休みをいただき、昨年度 4 月から復職しました。児童養護施設では早番、遅番、宿直勤務があり、幼い子を育てながら仕事に復帰できるのかとても悩みました。前例がない上に、通常の勤務形態ではない日勤として復職させていただいた為、一緒に働く職員も不安が大きかったと思います。

復職して一年が経ち、子どもの支援にあたる際、以前とは違い、親としての視点で物事を観る事が出来るようになったような気がします。その視点を大切にしながら日々援助にあたっていきたいと思います。若い世代の職員から「出産後も働き続ける事が出来る」と分かり安心した」との話を頂く機会もありました。同じような不安や悩みを施設全体で共有しながら多様な働き方を考え、実現していく事で、職員の定着にも繋がると感じます。

個別対応職員・実習生担当 佐々木

権利擁護に関する施設の取組み

当施設では子ども達が安全・安心な生活を送ることができ、子ども自身が主体的に生活を送ることができるように、権利擁護係を中心として、「子どもの権利ノート（東京都福祉保健局 発行）」の子どもたちへの説明、意見箱の設置、職員に向けての定期的なアンケートの実施、また職員の権利擁護に対する意識向上のために外部の研修を利用する等日々努めています。

子どもの権利ノートについては、新入所児や小学校、中学校に進学する子どもだけではなく、子ども一人ひとりに必要に応じて再度説明をする場を設け、権利に対しての理解を得られるようにしています。

意見箱の設置では毎週意見箱の中身の確認を行い、子どもからの意見があった場合には苦情処理手順に従って改善策を検討し、苦情処理委員より子どもへの説明を行っています。また、意見箱に入らないような子どもからの意見に対しても、必要に応じて施設長、副施設長、主任、副主任、権利擁護係で組織された権利擁護委員会を開き、適切な対応に努めています。

職員に向けたアンケートでは、年に 2 回「人権擁護のためにチェックリスト」を実施し、日々の援助の中で子どもの権利侵害をしていないか再認識すると共に、人権擁護・人権侵害の防止、性的虐待の防止に努めています。今年度からはパート職員にもアンケートを実施し、全職員への周知に力を入れています。そして、権利擁護の知識を深めるために権利擁護係が率先して外部の研修を利用し、施設内にフィードバックすることで施設全体の知識の向上にも繋げるようにしています。

時代の流れと共に権利擁護についても変化していくものですが、子どもが安全・安心な生活が送れるよう今後も知識・理解を深めていきたいと思っています。

権利擁護係 川鍋

ご招待・ご支援・ご協力をいただいた様子

西多摩建設業協同組合様のご協力のもと、今年も感謝祭を行いました。園の畑で取れた野菜を使って食事を作り、皆でいただきました。建設用の重機に触れる機会も与えていただきました。(広報)

重機の操縦の仕方を教わりました。その後に、僕自身だけで操縦をする事ができました。ちょっと難しかったけど、すごく楽しかったです。

中3 男児K



森の中のお肉レストラン アースガーデン様が子ども達全員をお店に招いてくださりました。とても美味しい料理をご馳走になり、みな大満足でした。また、花を生ける体験もさせていただきました。(広報)

からあげやポテトが美味しかったです。また、花をどんどん自分の好きなように花瓶に入れていくのが楽しかったです。 小6 男児S



国際ソロプチミスト青梅様より寄附をいただきました。国際ソロプチミストは、社会的・経済的エンパワーメントをもたらすプログラムを通じて、女性と女児の生活を向上させるために地域社会や国際社会において活動している女性による奉仕団体です。当施設にも、継続的に支援をいただいています。(広報)



今年もフィリップモリスジャパンの皆様が本園の環境整備のために来てくださりました。草取り、石垣のコケ取り、木の伐採、畑の整備等ご協力をいただきました。丁寧に作業をしていただき、とても綺麗になりました。

(広報)



福利厚生事業“ソウェルクラブ”

当施設では職員の福利厚生のために、(福)福利厚生センター〔通称：ソウェルクラブ〕に加入しています。こちらでは様々なサービスが用意されていて、まず、昨年度は勤続30年・10年・5年になる職員夫々に、紳士腕時計やコーヒーメーカーなどの「永年勤続記念品」をいただきました。他にも「結婚祝品」、「出産祝品」、子どもの「入学祝品」などを職員のお祝い事の都度いただいています。

またソウェルクラブ会員の交流事業もあり、抽選ではありますが、ホテルのランチbuffetや観光地でのグルメツアーなどがリーズナブルな価格で利用できます。今はミュージカルや歌舞伎などの観劇の募集があり、職員同士で一緒に応募し、出掛ける計画を楽しみにしていたりします。(広報)

当施設運営にご協力いただいた皆様をご紹介します。(敬称略、順不同、平成30年度内)

寄附金 青柳義雄、今井、遠藤巖、一般社団法人子供みらい基金、稲田義明、井上寿子、株式会社酒井組、株式会社東新商会、清田美智子、久米洋子、国際ソロプチミスト青梅、沢井一丁目自治会、須崎喜一、高野俊慈、西多摩建設業協同組合、野村有信、英光一、馬場医院 馬場、原嶋曜子、福島恵美子、宮本、森下和仁、横田基地374 通信中隊、吉崎商店

物品寄附 あおうめ会(有限会社まちだ・和菓子処 は万の・道味・有限会社柳丸)、アサヒ飲料株式会社、石川園芸、石田眞二郎、一般社団法人東京馬主協会、大沼淳、加来芳子、加藤産業株式会社 Kat oグリーンウッド基金、株式会社チュチュアンナ、株式会社メリーチョコレートカンパニー、株式会社横山、株式会社酒井組、株式会社兵左衛門、キーン・ジャパン合同会社、公益財団法人毎日新聞東京社会事業団、肥塚貞夫・波津子、コストコホールセールジャパン株式会社 入間倉庫店、柴田幸作、術サロン、セカンドハーベスト・ジャパン、全国シャンメリー協同組合、第一生命労働組合、東京都蒔蒔協同組合、西多摩建設業協同組合、日本鏡餅組合、日本出版販売株式会社、フィリップモリスジャパン合同会社、富士山天然水・蔵元「不二」、ほっともっと、宮本十四夫、門司一徹、有限会社ダスカジャパン クアウテモック、吉野好男、吉野良久、ライオンズクラブ国際協会、匿名1名

支援協力 西多摩建設業協同組合、認定特定非営利活動法人みらいの森、富士山天然水・蔵元「不二」、森の中のお肉レストラン アースガーデン、有限会社コンセプト、横田基地第374 通信中隊

子どもたちによる
手作りのお礼状 ♪

